

人的資源論

単位数	履修方法	配当年次
1	S	2年以上



科目コード **DK3690** 担当教員 **齊藤 幹雄**

※この科目は平成28年度まで開講します。平成29年度以降は開講いたしません。単位修得のためには、4/28までに履修登録とスクーリングの申込みをし、5/21・22のスクーリングを受講することが必要です。

■スクーリングで学んでほしいこと

雇用不安の蔓延や格差社会、「会社人間」の限界などの指摘と相まって、働くことの意味や働きがいと問われ、雇用慣行が揺らいでいる。これらは、産業構造の転換、少子高齢社会、グローバリズムといった潮流・背景と無縁ではない。そうした問題意識を踏まえ、産業カウンセリングのスタートラインともいえる「産業における人間関係」をまずは把握する。そして労働経済のゆくえや職業的自律に関する手ごたえを、労働市場や雇用慣行およびキャリア形成に関する基礎的知識などを通じて習得してほしい。

■到達目標

上記の基礎知識の習得にとどまらず、産業社会の動向を把握しつつも個人へのまなざしを大切に、産業カウンセラーとしての社会的役割とその意義を自覚すること。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	産業・組織の心理学①	人間関係論
2	産業・組織の心理学②	組織と人間—官僚制および行動科学
3	産業社会の動向と人事労務管理—労働経済①	労働と職業—働くことの意味
4	産業社会の動向と人事労務管理—労働経済②	労働市場に関する予備的知識—労働市場の特異性、労働市場の類型、失業など
5	産業社会の動向と人事労務管理—労働経済③	日本的雇用慣行の特質とその動揺
6	産業社会の動向と人事労務管理—労働経済④	人事労務管理—労働費用（総額人件費）・賃金体系、職域福利、人事考課
7	キャリア論	求められるキャリア形成、キャリア・ガイダンスの基礎理論
8	まとめ	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

パワーポイントとレジユメを中心に講義を進めます。要点は板書で伝えます。

■スクーリング評価の基準

授業への参加状況10%+スクーリング試験90%で評価する。

■スクーリング時の教科書（「カウンセリングⅠ」などと共通）

日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセラー養成講座テキスト 産業カウンセリング』日本産業カウンセラー協会2014年，12章・13章・15章。スクーリング当日は講義用レジュメを配付する。

※「カウンセリングⅠ」で配本のため，この科目での教科書配本はありません。

■履修登録条件

この科目は「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録済みか，同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

■スクーリング事前学習

雇用・労働をはじめ経済社会の動向に関して，問題意識をもって臨んでほしい。

■スクーリング事後学習

スクーリングで学習した基礎的知識をもとに，人事労務に関する本を購読してほしい。